

- Q. 定住促進対策は
 A. 単身者住宅も視野に制度見直しを検討
- Q. 町外での部活動への支援を
 A. 交通費の支援は考えていない



樋坂 里子 議員

定住促進対策について

質問 町内3団体代表の方から住宅対策の要望があったと思うが、どのような対策をお考えなのか。また、公営住宅増設についての考えを伺う。

町長 町内事業所に勤務する方々への住宅対策に対しての要望があったので次のように回答した。

町は定住人口の増加を願いつつ、さらに民間活力を生かすべく賃貸住宅を建設する方に一定額を助成する「共同賃貸住宅建設促進事業」を行っている。助成額を拡充するなどの制度充実を図ったが利用がないため、単身者住宅も対

象とするなどの制度見直しを25年度中に検討する。
 また、公営住宅は住宅困窮者対策を目的にしており、安易な建設は従前から賃貸住宅経営を行っている方々へ影響もあり慎重な思慮が必要である。

これまでの定住・住宅対策

○定住促進事業住宅取得奨励金
 (平成9年～平成13年)
 住宅を新築、既存住宅を二世帯住宅に増築した方に奨励金交付
 奨励金交付件数 163件

○住宅創出特別対策事業住宅取得奨励金
 (平成14年～平成16年)
 奨励金交付件数 67件
 住宅新築者へ奨励金交付

○共同賃貸住宅建設促進事業
 (平成17年～現在)
 共同住宅建設件数
 5棟24戸

新十津川駅を活用し観光客誘致を

質問 新十津川駅を多くの人に周知し観光客の誘致に努め、観光産業の振興に期する計画を伺う。

町長 新十津川駅はJR学園都市線の終着駅であることから鉄道ファンが全国各地から訪れている。このような人々が快適に駅に降り立ってもらえるよう、駅舎清掃、駅周辺の花植えなどがボランティアの手により行われている。また、ポニーの放牧や保育園児によるお見送りの様子がテレビ、新聞で放映・報道された。さらに、民間旅行会社のツアーに新十津川駅が組み込まれるなどの実績もある。

町としては、引き続き町のホームページや観光ポスター、職員が利用する名刺台紙を活用したPRにより観光振興に寄与したいと考えている。また、駅舎の老朽化が著しいことから、JR北海道本社に修繕要望をしている。

部活動への支援を

質問 中学校の部活動には町外において練習試合等を実施する部も少なくない。回数が多くなると父母負担も大変となることから公的な支援を行うことは如何か。

教育長 部活動の支援は、教育活動として部活動が円滑に行なえるよう必要備品や消耗品はそのほとんどを町予算で対応している。夏休み、冬休みもスクールバスの部活便を運行し生徒の部活に支障無いよう配慮している。また、学校以外の体育施設等も無償で利用することができ。

経済的困難者への支援は就学援助制度により従来どおり継続していくが、部活動での町外活動交通費支援は現在考えていない。